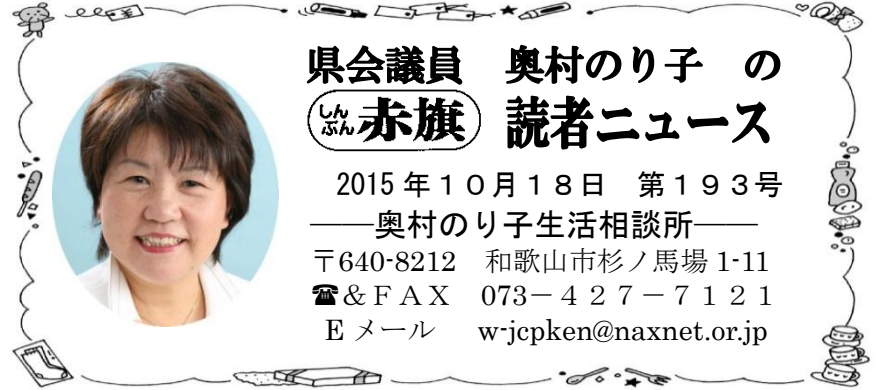


県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2015年10月18日 第193号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



内閣改造でも支持率は微増
マイナンバー「不安」は八割

10月7日、第3次安倍改造内閣が発足。何も期待してないけど悪法の立役者などが留任し、意味不明の新ポストを含め総数20人。公明党の一人を除き全員が、日本の過去の侵略戦争を「アジア解放」「正義の戦争」と正当化する靖国神社を崇拜し参拝する人ばかりである。早速、戦争法の具体化として「死の商人」といわれる軍事産業の武器輸出に税を投入する検討や、南スーダンPKO(国連平和維持活動)での駆け付け警護の武器使用に着手したり、環太平洋連携協定(TPP)では「大筋合意」で秘密交渉のなか日本の農業を売り渡すことに妥協しました。暴走に暴走を重ねる内閣であることは間違いなし。

内閣改造は支持率を回復する手段ですが、改造後の世論調査は内閣支持率で微増、戦争法成立を「評価する」は30%台、「評価しない」は50%台が大体共通。来年の参院選で安保関連法を「判断材料にする」が57%を占めています(毎日)。安部寄りの「日経」調査でも「集団的自衛権行使」に「反対」は55%、「賛成」は27%。世論は国民の側です。最後に前号で触れたマイナンバーについて聞いた調査もあったので紹介します。「不安だ」が79%も。国による個人情報管理は「信頼する」は17%、「信頼しない」が77%(JNN)でした。国ってホンマに信頼されていないね。(編集室)



日高川町役場前で(右から)市木町長さん、奥村、紙智子参院議員、坂口多美子参院候補、松阪英樹県議

紙智子農林・漁民局長が林業調査で来県
本当の地方創生で林業の発展を

10月13日、参議院議員、党公益機能を発展させること、「人農林・漁民局長の紙智子さんと山を守る」この大義のもとで和歌山県の林業調査に来られました。県の指導や県森連の方針は

参院選候補の坂口多美子さん「このままだと森林組合は経営と県議団も同行させていって行けないので規模を縮小しき、田辺市の製材業者さんや森林組合の役員さんとの懇談をさせていただきました。日高川町の町長さんも参加して下さい、地元の町会議員さんの進行で林業の実態や生の声を聞くことができました。和歌山県の林業は生産額の落ち込みとともに森林組合での雇用労働者の減少が際立っています。県では2002年から国に先駆けて「緑の雇用」事業を開始したはずですが改善されていません。造林事業や間伐事業の減少が大きな要因となつてます。このようななかで森林の持つ

組合のみなさんは「今ある雇用は確保し、林業を振興させ、雇用を創出する」という合併にむかわれています。国や県の基幹産業の一つである林業の発展はまったなしの課題であり、国政県政の問題だと強く感じました。

「本当の地方創生とは何かを主張し続けてほしい」という言葉には大変励まされた調査でした。(奥村のり子)

紀ノ川駅エレベーターを

今年4月の一斉地方選挙の私の公約の一つに「紀ノ川駅にエレベーター設置」の項目があります。国は2013年に交通バリアフリー法を一部改定し、整備対象駅を乗降客5000人から3000人とした。紀ノ川駅は2014年、2965人です。3000人未満であっても地域の状況により数字にこだわらないとされています。

先日、エレベーター設置実現にむけ準備会が発足しました。すでに駅利用者の方へのアンケートを実施しましたが、「もっと実態を知りたい」「加太線への乗り換え者のカウントはどうなっているのか」などの意見が寄せられました。

3日間かけて「乗り換え人数」調査



当日はカウンター持参で調査に

そこで乗降客のカウントの方法について市・交通政策課にきくと事業所に問い合わせられて「改札の出入数でカウントする」ということでした。つまり「加太線に乗り換える人はカウントされていない」ということです。イオンができてから乗り換え人数は増加しているのではないかと利用者からの声もあり10月15、16、17日の三日間に「乗り換え人数」を調査しようと決まりました。

カウンターを購入し、当番制で調査します。地域の方と一緒に運動を始められることにわくわくしています。実現への過程でどんな方と出会い何を学ぶのか、しつかりと味わっていきたいと思います。

10月の週刊誌—主なもの—
10月16日 市駅前・吉宗俊前宣伝 団体訪問 産院学習会 演鑑
17日 自治労連大会あいさつ
18日 地域訪問 新婦人文化フェス
19日~21日 総務委員会視察
22日 無料生活相談、回会議、住民説明会

党市議会議員
南畑さち代

